

平成18年5月30日
社団法人におい・かおり環境協会
表彰委員長 岩崎好陽

平成17年度表彰について

平成17年度の表彰を平成18年度の定期総会において行うこととし、機関誌「におい・かおり環境学会誌」(平成17年9月号)掲載により会員から表彰候補者推薦募集を行った。推薦者の中から各賞選考部会における検討結果を受けて表彰委員会で審議し、以下のとおり各賞の受賞者を決定した。

(敬称略)

1. 功労賞

功労賞は本協会の会員であり、本協会の発展に貢献若しくは、臭気に関する分野において特に優れた功績を認められた個人に、贈呈されるものである。

- 川崎通昭 日本香料協会参与
(受賞理由)

川崎通昭氏は、高砂香料工業株式会社が昭和62年に当協会に入会したことを契機に交流が開始された。同氏は総合研究所に在籍され学術的知見が豊富なことから、協会事業の様々な委員会[臭気判定士試験委員(平成8年から現在)、嗅覚検査委員(平成13年から現在)、かおり環境部会長(平成15年から現在)等]に参画してきた。さらに、平成7年から11年まで理事を勤められ、10年以上に亘る協会への功績は高く評価することができ、功労賞に十分値する。

2. 学術賞

学術賞は本協会の会員であり、においに関する論文・著作等学術的研究成果が特に優れた個人に、贈呈されるものである。

- 坂井信之 神戸松蔭女子学院大学人間科学部生活学科都市生活専攻助教授
(受賞理由)

坂井信之氏は、大学院時代より嗅覚に関する生理心理学的研究を続けられ、においの快・不快と脳活動との関係、さらに、脳活動と認知要因に関する研究へと発展してきている。そして、嗅覚分野では今までほとんど行われなかった、脳活動の計測にfMRIを用いたパイオニア的な存在といえる。よって嗅覚分野に新たな光を照らした功績は多大であり、本協会の学術賞に相応しい。

3. 技術賞

技術賞は本協会の正会員、公共会員および賛助会員である法人会員又はこれらに所属する個人又はグループで、臭気に関する調査研究又は臭気対策技術等に関して顕著